平成 21 年 1 月 30 日

各　　位

会　社　名　宝ホールディングス株式会社
代 表 者 名　取締役社長　　大宮　　久
（コード番号　2531　東証、大証　第 1 部）
問 合 せ 先　取締役 IR 室長　　松崎　修一郎
T　E　L　（０７５）２４１－５１２４

当社子会社（タカラバイオ株式会社）の業績予想の修正に関するお知らせ

当社子会社であるタカラバイオ株式会社（コード番号 4974 東証マザーズ）が、平成 20 年 11 月 10 日に公表いたしました平成 21 年 3 月期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）の業績予想を、添付資料のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、当社の平成 21 年 3 月期の連結業績予想に関しましては、変更ございません。

（添付）タカラバイオ株式会社の開示資料

以　上

当資料取り扱い上の注意点

当資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

(財)財務会計基準機構会員

平成21年1月30日

各 位

上場会社名　タカラバイオ株式会社
代表者　代表取締役社長 加藤　郁之進
(コード番号　4974)
問合せ先責任者　専務取締役 木村　睦
(TEL　077-543-7212)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年11月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	19,550	200	350	250	886.50
今回発表予想(B)	18,980	250	350	250	886.50
増減額(B-A)	△569	50	―	―	―――
増減率(%)	△2.9	25.0	―	―	―――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	20,278	560	876	679	2,412.91

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,957	277	676	536	1,900.65
今回発表予想(B)	13,353	100	500	550	1,950.29
増減額(B-A)	△603	△177	△176	13	―――
増減率(%)	△4.3	△63.9	△26.1	2.5	―――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	13,589	41	408	1,873	6,653.31

修正の理由

売上高は第3四半期連結累計期間で13,419百万円となり、前回予想(平成20年11月10日公表、以下同じ。)の通期売上高19,550百万円に対する進捗率は68.6%となりました。当社グループにとって第4四半期は最需要期でありますが、為替相場の動向等も含め現下の状況を精査した結果、通期の売上高は前回予想を下回る18,980百万円となる見込みであります。

利益面では、売上総利益が、売上高の下方修正に伴い前回予想比374百万円(△3.6%)の未達となる見込みとなりました。また、販売費及び一般管理費は、研究開発費が200百万円、人件費が95百万円、販売促進費が58百万円の減少となること等により、合計で前回予想比424百万円(△4.2%)の減少となる見込みであります。

この結果、営業利益が250百万円と前回予想比50百万円(25.0%)の増益となる見込みとなりました。営業利益は増加するものの、第3四半期連結会計期間において為替差損87百万円等が発生し、営業外費用が増加する見込みとなりましたので、経常利益は前回予想どおりの350百万円となる見込みであります。

特別損益および法人税等には大きな変動要因はありませんので、当期純利益も前回予想どおり250百万円となる見込みであります。

また、個別業績につきましては、第3四半期までの売上高の進捗率が、前回予想の通期売上高に対して65.4%にとどまっており、通期の売上高は前回予想を下回る見込みとなりました。販売費及び一般管理費が前回予想比で減少するものの、売上高減少の影響が大きく、営業利益および経常利益は、それぞれ前回予想を下回る見込みとなりました。当期純利益につきましては、法人税等の減少が見込まれますので、前回予想を若干上回る見込みであります。

以上のことから、平成21年3月期の通期業績予想を修正するものであります。

(注)業績予想につきましては、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断したものであります。従いまして、実際の業績は、これらの数値と異なる場合があります。

以 上